

ダイワ世界有力企業外債ファンド(為替ヘッジあり)2016-10 設定来の運用状況と今後の見通しについて

2016年11月14日

平素は、「ダイワ世界有力企業外債ファンド(為替ヘッジあり)2016-10」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの設定来の運用状況と今後の見通しについて、お知らせいたします。

＜基準価額・純資産の推移＞

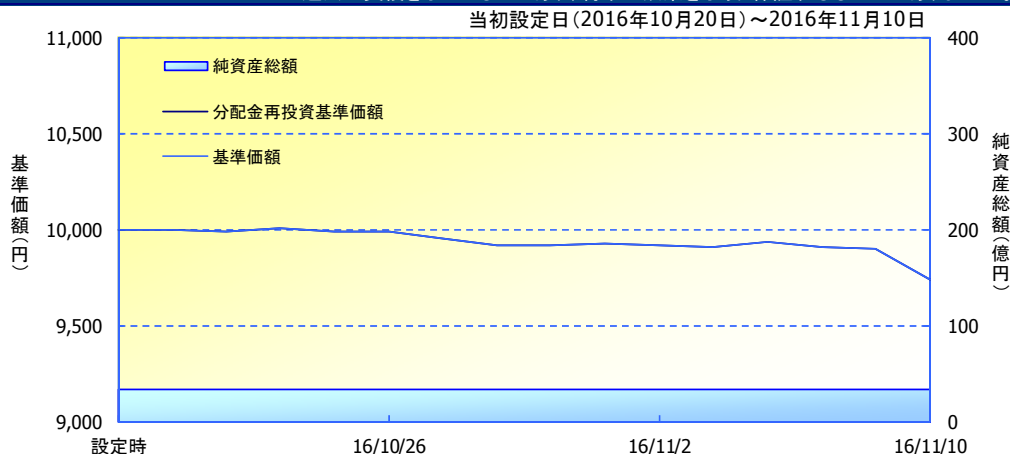
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年11月10日現在

基準価額	9,739 円
純資産総額	33億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-----
3カ月間	-----
6カ月間	-----
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	-2.6 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜主要な資産の状況＞

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成

資産	銘柄数	比率
外国債券	21	94.6%
コーポ・ローン、その他※		5.4%
合計	21	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。

債券 種別構成

種別	比率
事業債	91.1%
政府機関債	3.4%

債券 ポートフォリオ特性値

直接利回り(%)	3.3
最終利回り(%)	3.3
修正デュレーション	9.1
残存年数	11.4

※ポートフォリオ特性値は債券ポートフォリオに対する値です。為替ヘッジに伴うコスト等を考慮した値ではありません。

通貨別構成

通貨	比率
日本円	102.5%
米ドル	-2.5%

※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。外貨建て資産の値動きによってはマイナスとなる場合があります。

債券 格付別構成

格付別	比率
AAA	3.6%
AA	56.5%
A	39.8%
BBB	---
BB以下	---
合計	100.0%

※債券 格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※債券 格付別構成は、Moody's、S&P、Fitch、R&I、JCRの格付けの最も高いものを採用し、算出しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

組入上位10銘柄				合計60.3%
銘柄名	通貨	利率(%)	償還日	比率
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	米ドル	2.632	2026/07/14	7.5%
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	米ドル	3.85	2026/03/01	7.5%
Mizuho Financial Group Inc	米ドル	2.839	2026/09/13	7.2%
JPMorgan Chase & Co	米ドル	3.2	2026/06/15	6.1%
Wells Fargo & Co	米ドル	3	2026/04/22	6.0%
GOLDMAN SACHS GROUP INC.	米ドル	3.75	2026/02/25	5.5%
MORGAN STANLEY	米ドル	3.125	2026/07/27	5.5%
Japan Tobacco Inc	米ドル	2.8	2026/04/13	5.3%
Bank of New York Mellon Corp/The	米ドル	2.8	2026/05/04	5.2%
UnitedHealth Group Inc	米ドル	4.625	2035/07/15	4.6%

※比率は、純資産総額に対するものです。

《ファンドマネージャーのコメント》 ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

■市場環境

主要国の債券市場では、欧米の景況感の改善を示す経済指標や原油価格の回復に伴うインフレ期待の上昇などを背景に、米国の年内利上げ観測やECB(欧州中央銀行)による量的緩和の減額懸念が広がり、当ファンド設定前より国債金利の上昇圧力が高まっていました。当ファンド設定後は、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利を受け、財政拡大策による景気浮揚が意識されたことも国債金利の上昇要因となりました。

こうした環境下、米ドルなど外貨建ての社債については、多くの発行体に目立った信用力悪化も見られず、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)が安定的に推移してきました。当ファンド設定後もスプレッド水準に大きな変化は見られませんが、社債金利は国債の動きにつれて上昇(債券価格は下落)する展開となっています。また、為替市場では、円が米ドルなどの主要通貨に対して弱含みました。

■運用状況

当ファンド設定後は、速やかに世界の企業が発行する外貨建て社債などの組み入れを行い、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。ポートフォリオの構築に際しては、デフォルト(債務不履行)リスクや債券の流動性などに留意しつつ、ヘッジコスト考慮後の利回り水準に投資妙味のある米ドル建ての銘柄を選別しました。また、日系企業の割合を3分の1程度としたほか、金融を軸に幅広い業種の銘柄を組み入れるなど、国・業種別にリスク分散を図ったポートフォリオ構成としました。

なお、設定来の基準価額は、上記の市場環境のため下落しております。

■今後の見通し

米国では、経済環境に大幅な悪化が見られない限り、年内の利上げ実施が見込まれます。ただし、トランプ氏の政治手腕の見極めや英国のEU(欧州連合)離脱交渉が進展するまでは、世界経済の先行き不透明感が強い状況が続くとみられます。米ドル高による経済への悪影響なども勘案すれば、利上げペースは緩やかなものととどまると考えられます。一方、トランプ政権による財政拡大や保護主義的な通商政策が実行に移される過程では、景気浮揚期待や財政悪化懸念が国債金利の上昇圧力になると見られます。

当面の先行き不透明な経済情勢においては、グローバルな企業活動への悪影響が懸念され、社債市場はボラティリティ(価格変動性)が高まりやすいと見られます。しかし、世界的には金融緩和の継続が見込まれ、低金利下でより高い利回りを求める投資需要が引き続き期待されるため、外貨建て社債の投資環境は大きく悪化しないものと考えています。また、トランプ政権による景気刺激策が奏功すれば、発行体の信用力改善が期待されるため、社債市場は底堅い展開が期待されます。

今後の運用に際しては、現状の組み入れ債券の継続保有を基本として利回りの実現を重視し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指す方針です。

以上

ダイワ世界有力企業外債ファンド(為替ヘッジあり)2016-10

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

世界の企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

- 世界の企業が発行する外貨建ての社債等に投資します。
 - ◆ 投資対象は、主として世界の企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。必ずしも、上記通貨の全てが組入れられるわけではありません。
 - 世界の企業には、日本の企業を含みます。
 - 社債等は劣後債を除きます。
 - 社債等には、政府機関、地方公共団体等が発行する債券を含みます。
 - ◆ 流動性の確保およびポートフォリオの修正デュレーションの調整のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債等に投資することがあります。
 - ◆ 社債等の格付けは、取得時において A 格相当以上とします。
 - ◆ ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンドの残存年数+0.3（年）以内とすることをめざします。
- 「為替ヘッジあり」および「部分為替ヘッジあり」の 2 つのファンドがあります。
 - ◆ 「為替ヘッジあり」は、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
 - ・ ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - ◆ 「部分為替ヘッジあり」は、保有実質外貨建資産について、為替ヘッジを行なうことにより、当ファンドの実質的な円貨比率を 70% に近づけることをめざします。
 - ・ 為替ヘッジしていない部分については、為替変動の影響を受けます。

※ 為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・ マザーファンドは、「ダイワ世界有力企業外債マザーファンド 2016-10」です。
 - ・ マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。

※ かわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込に伴うリスク等）」

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ かわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用については、次頁をご覧ください。

ダイワ世界有力企業外債ファンド(為替ヘッジあり)2016-10

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 0.54% (税抜 0.50%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末、途中換金および信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会